

放課後学習会 「こうろえんΣ」

ボランティア講師 大募集！！



近日中の開設をめざして準備中です。一緒に新しい学習会をつくっていきましょう！

- 将来、教員や子どもに関わる職業を目指す学生さん！
- 子どもへの学習支援に关心がある方！
- 子どもに寄り添う活動がしたい方！
- 多様な人と交流する機会が欲しい方も歓迎！

子どもを持つ人たちからのニーズは高まっています！

放課後学習会は、宿題や苦手科目の勉強をすることはもちろん、お習字や将棋を習ったり、本を読んだり、カードゲームをしたりと、子どもたちが自由にのびのびと過ごせる「居場所」を地域住民の相互協力のもとに提供することを目指しています。

開設曜日・時間

毎週水曜日 15時～20時実施
(ご都合のつく時間だけ参加いただければ結構です)

香櫞園小学校保護者向けアンケートで寄せられた声



2年生保護者：仕事をしているため、長時間子ども一人で留守番をさせるのは不安。子どもが安心して過ごせる場所があったらいいのに…。家に一人だとどうしてもテレビやゲームをして過ごしてしまいかがだから…。



4年生保護者：高学年になると勉強が難しくなって親が見るのは大変。子どもも親でない人に気軽に質問できる方がいいみたい。年の近いお兄さんやお姉さんがいたらいいなあと思う。親が教えても素直に聞いてくれないこともあります。

講師は全員ボランティア

大学生ボランティアの他、地域の社会人、主婦、リタイヤ世代など様々な年代、経験を有する人が参加します。講師同士の交流からいろいろなことを得る機会も生まれます

会場：香櫞園市民センター（阪神香櫞園駅 徒歩5分）

地域の力で作る子どもの居場所

こうろえんΣ

シグマ

お申込み・お問い合わせは下記までご連絡ください

✉ kouroen.sigma@gmail.com

☎ 050-6879-8447

詳しい説明はチラシ裏面をご覧ください。



こうろえん Σ (放課後学習会) のボランティア講師募集要項

香櫞園地区社会福祉協議会の新たな活動として、放課後、ご家族が不在だったり、勉強する環境が整わない子どもが気軽に集まって宿題をしたり、課題に取り組む「居場所」となる学習会を近日中（7月頃）にオープンすることを計画しています。

この学習会で子どもたちに寄り添って、子どもたちがわからないところの質問に答えたり、一緒に学習をしていただくボランティアの講師を募集します。

学習会の開始時期、曜日、時間は現在調整中ですが、空いた時間で地域の子どもの成長を見守る活動にご関心のある方がいらっしゃいましたらお気軽に下記あてご連絡をお願いいたします。

子どもたちとの出会いだけでなく、いろいろな世代の講師同士の新たな交流から得られるものがきっとあります。

【学習会の概要】

名 称：こうろえん Σ (放課後学習会)

対 象：香櫞園地区の小学生

場 所：香櫟園市民センター（川西町4-5）阪神香櫟園駅から徒歩5分

日 時：週1回 放課後～20時までの間で調整中。時間中、児童も講師もそれぞれの都合に合わせて出入り自由としますので、ご都合のつく日、時間だけご参加いただければ結構です。

内 容：児童各自が宿題、教材などを持参して自習し、わからないところを講師に質問して解決するという形式で実施します。また、保護者のご希望等に応じてそれぞれの児童がのびのびとこの居場所で時間を過ごすサポートをします。

【募集内容】

ボランティア活動に興味がある方、将来教員を目指している方、子どもの教育に関心のある方、空いた時間を有効に使いたい方など。新しい学習会を一緒につくりていきましょう。塾講師などの資格、経験は問いません。

報酬はありませんが、交通費相当額として500円/回の支給があります。

【連絡先】

この学習会にご興味をお持ちいただいた方は、お気軽にメールで

① 名前 ② ご連絡先 ③ ボランティアが可能な曜日及び時間
をお知らせください。

メール：kouroen.sigma@gmail.com

TEL： 050-6879-8447



先日、香櫟園小学校の保護者にアンケート調査を実施したところ、
○ 学校から帰った後は子供が一人になるので居場所があると助かる
○ 地域の様々な年代の人と関わりながら子供が学べるのはとてもいいこと
○ 子どもが親に勉強を教えてもらうのを嫌がるので、講師から教えてもらうのは助かるなど、多くの方から学習会への期待の声がありました。

子どもの成長を見守る活動にぜひご参加をお願いいたします。

Σ (シグマ)の名前の由来

Σ は「総和」を表す数学の記号で、ギリシア文字の第18番目の文字でもあります。

この学習会にみんなが集まり、講師が十八番(オハコ)を發揮し、子どもたちが何か得意なことを身につけることができる場になってほしいという願いを込めて名付けました。